

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	若年労働者対策経費	担当部局庁	職業能力開発局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～平成24年度(終了予定)	担当課室	キャリア形成支援室	キャリア形成支援室長				
会計区分	一般会計	施策名	若年者のキャリア形成を支援する。					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	若年者の職業的自立の実現に関し、顕著な功績が認められる団体又は個人に対して、厚生労働大臣表彰を行い、もって若年者の職業的自立を支援する取組を奨励し、すぐれた取組を広く普及させるとともに、成功事例を広く国民に周知し、社会全体において若年者の職業的自立を支援する気運を高めることを目的とするもの。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	若年者の職業的自立の実現に関し、顕著な功績が認められる団体又は個人を対象に、職業能力開発局長が定める基準に従い、所在地の都道府県労働局長の推薦、選考委員の選考を踏まえ、厚生労働大臣が決定、表彰を行うもの。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	1.2	0.9	0.6	0.3	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	1.2	0.9	0.6	0.3	-	
	執行額	0.06	0.04	0.1	-	-		
執行率(%)	5	4.44	16.7	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)	
	本事業は、若者に対する就労支援に取り組む団体を表彰するものであり、具体的な数値目標等を設定することは、事業の性格となじまない。	成果実績			-	-	-	-
		達成度	%		-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	表彰を行う団体数	活動実績(当初見込み)	団体等	12 (9団体、3個人)	7 (4団体、3個人)	7 (4団体、3個人)	- (-)	
単位当たりコスト	5,714 (円/団体等)	算出根拠	単位当たりコスト=執行額(0.04百万円)/表彰を行う団体数(7団体等)					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	(目)褒章品費	0.09	0	24年度事業の廃止を検討しているため。				
	(目)職員旅費	0.15	0					
	(目)庁費	0.05	0					
計	0.29	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本表彰については、これまで「若者自立支援フォーラム事業」(平成20年度限りの事業)や「職業能力開発関係厚生労働大臣表彰」と併せて行うことにより、会場借り上げ料の合理化を図るほか、被表彰団体等の推薦を関係機関(都道府県労働局)に依頼することにより、選定委員旅費の減に努めるなど、無駄のない予算執行を行ってきており、23年度についても、引き続き効率的な予算執行に努める。</p> <p>また、事業の実施状況等を踏まえ、若年者の職業的自立支援の取り組みの周知や、社会全体における若年者の職業的自立を支援する気運の醸成が高まったこと等、一定の成果を上げたと判断できるため、23年度をもって事業を廃止する方向で検討しているところ。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		-	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
職業能力開発局
事務費 0.1百万円

- 被表彰者の決定
- 表彰者へ贈る楯等の選定



【随意契約(少額)】

A
(株) 東京写真イメージング
他1者
0.1百万円

- 褒章品(表彰楯・賞状等)の購入
- 庁費(記念撮影)

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.株式会社 東京写真イメージング			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	記念撮影	0.05			
計		0.05	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 東京写真イメージング	記念撮影	0.05	随意契約	
2	株式会社 ミクニ商会	表彰楯、賞状の作成等	0.04	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					